



## 平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月5日

上場取引所 東 札

上場会社名 札幌臨床検査センター株式会社  
コード番号 9776 URL <http://www.saturin.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大井 典雄  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 伊達 忠應

TEL 011-613-3210

四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	4,303	4.3	269	212.4	277	188.7	171	219.9
27年3月期第1四半期	4,126	0.9	86	△63.8	95	△61.4	53	△63.4

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 181百万円 (217.7%) 27年3月期第1四半期 56百万円 (△62.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	49.34	—
27年3月期第1四半期	13.49	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	9,336	6,100	65.3	1,753.24
27年3月期	9,164	5,961	65.0	1,713.21

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 6,100百万円 27年3月期 5,961百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
28年3月期	—				
28年3月期(予想)		0.00	—	11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,575	3.3	370	△1.9	367	△6.7	232	△1.2	66.75
通期	17,713	3.2	834	△4.0	835	△6.8	532	△7.1	153.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期1Q	4,216,000 株	27年3月期	4,216,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

28年3月期1Q	736,550 株	27年3月期	736,509 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	3,479,475 株	27年3月期1Q	3,979,491 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、経済政策・金融政策効果を背景に、円安傾向の継続や株価の上昇、原油価格下落を主要因として企業収益は改善傾向にあります。

また設備投資、個人消費の持ち直し、雇用情勢の改善など、国内景気は回復基調で推移いたしました。

一方で、円安による輸入価格の上昇やギリシャ債権問題、新興国経済の景気減速による世界経済の不安定さから、先行きは不透明な状況となっております。

当社グループが拠点を構える北海道の経済におきましては、民間の設備投資や各種政策の効果が表れ、観光は順調に推移し、雇用情勢も着実に改善しております。

医療業界におきましては、調剤薬局業界のM&Aや臨床検査業界の再編や同業他社との競争による利益率の低下等、依然として経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、医療機関の多様化するニーズに応えた営業活動を展開し、新規顧客の獲得及び調剤薬局の新規出店による営業基盤の拡大、経費効率を重視した収益基盤の強化に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高4,303百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益269百万円（同212.4%増）、経常利益277百万円（同188.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益171百万円（同219.9%増）と増収増益になりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ① 臨床検査事業

臨床検査事業におきましては、新規顧客の獲得、事業に係る経常支出が前年同期を下回ったことにより、売上高1,405百万円（同2.1%増）、セグメント利益105百万円（同44.0%増）と増収増益になりました。

## ② 調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、店舗の閉鎖による影響はありましたが、前期に開局した店舗及び既存店舗の業績が堅調に推移し、新規出店に係る初期導入費用等が抑えられたことにより、売上高2,663百万円（同5.4%増）、セグメント利益257百万円（同154.2%増）と増収増益になりました。

## ③ 医療機器販売・保守事業

医療機器販売・保守事業におきましては、消耗品の販売が前年同期を上回ったため、売上高219百万円（同7.0%増）、セグメント損失1百万円（前年同期はセグメント損失3百万円）と売上高、利益ともに前年同期を上回りました。

## ④ その他の事業

臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守におきましては、売上高14百万円（前年同期比17.8%減）、セグメント利益7百万円（同29.5%減）になりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間における流動資産は6,487百万円となり、前連結会計年度末に比べ170百万円増加（前連結会計年度末比2.7%増）いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が299百万円減少しましたが、現金及び預金が323百万円、商品が136百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は2,848百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円増加（同0.0%増）いたしました。これは主に差入保証金が6百万円、繰延税金資産が3百万円それぞれ減少しましたが、投資有価証券が13百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は9,336百万円となり、前連結会計年度末に比べ171百万円増加（同1.9%増）いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間における流動負債は2,950百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円増加（同1.5%増）いたしました。これは主に賞与引当金が66百万円減少しましたが、未払金が57百万円、支払手形及び買掛金が33百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は285百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円減少（同4.2%減）いたしました。これは主に役員退職慰労引当金が7百万円、長期借入金が6百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は3,236百万円となり、前連結会計年度末に比べ32百万円増加（同1.0%増）いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間における純資産は6,100百万円となり、前連結会計年度末に比べ139百万円増加(同2.3%増)いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益171百万円及び剰余金の配当41百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は65.3%となり、前連結会計年度末比0.3ポイント上回りました。

また、1株当たり純資産は1,753円24銭となり、前連結会計年度末比40円3銭増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、売上高、利益ともに順調に推移していることから、平成27年5月15日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

今後の業績への影響を見極めた上で、修正が必要と判断される場合には、お知らせいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,664,318	2,987,487
受取手形及び売掛金	2,939,782	2,640,427
商品及び製品	533,152	669,260
仕掛品	13,577	13,911
原材料及び貯蔵品	37,670	40,837
繰延税金資産	79,475	79,401
その他	84,256	93,653
貸倒引当金	△35,184	△37,442
流動資産合計	6,317,050	6,487,537
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,876,591	1,883,179
減価償却累計額	△1,224,053	△1,236,278
建物及び構築物(純額)	652,537	646,901
機械装置及び運搬具	41,791	42,871
減価償却累計額	△31,732	△31,773
機械装置及び運搬具(純額)	10,058	11,098
工具、器具及び備品	2,396,711	2,427,448
減価償却累計額	△2,009,723	△2,037,248
工具、器具及び備品(純額)	386,988	390,200
土地	932,817	930,094
リース資産	75,311	77,207
減価償却累計額	△35,162	△35,494
リース資産(純額)	40,149	41,713
有形固定資産合計	2,022,551	2,020,009
無形固定資産		
その他	121,915	128,444
無形固定資産合計	121,915	128,444
投資その他の資産		
投資有価証券	152,238	166,101
長期貸付金	13,187	11,904
長期前払費用	34,267	33,780
差入保証金	309,246	302,766
繰延税金資産	113,919	110,002
その他	103,497	98,329
貸倒引当金	△23,078	△22,522
投資その他の資産合計	703,278	700,362
固定資産合計	2,847,746	2,848,815
資産合計	9,164,796	9,336,352

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,382,233	2,415,825
短期借入金	25,352	24,353
リース債務	15,441	14,508
未払法人税等	151,763	104,848
賞与引当金	128,455	62,085
未払金	70,432	127,923
その他	131,677	200,562
流動負債合計	2,905,356	2,950,106
固定負債		
長期借入金	35,338	29,338
リース債務	28,189	31,005
繰延税金負債	746	1,201
役員退職慰労引当金	55,133	47,878
退職給付に係る負債	13,592	13,831
長期未払金	159,354	156,910
その他	5,974	5,764
固定負債合計	298,328	285,929
負債合計	3,203,684	3,236,035
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	983,350	983,350
資本剰余金	1,015,270	1,015,270
利益剰余金	4,435,013	4,564,936
自己株式	△504,568	△504,613
株主資本合計	5,929,065	6,058,943
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,045	41,373
その他の包括利益累計額合計	32,045	41,373
純資産合計	5,961,111	6,100,316
負債純資産合計	9,164,796	9,336,352

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	4,126,299	4,303,372
売上原価	2,964,665	2,966,520
売上総利益	1,161,634	1,336,851
販売費及び一般管理費	1,075,392	1,067,470
営業利益	86,241	269,381
営業外収益		
受取利息	316	314
受取配当金	4,454	4,498
受取賃貸料	8,892	7,303
その他	7,496	6,901
営業外収益合計	21,159	19,018
営業外費用		
支払利息	427	329
賃貸収入原価	9,851	9,684
その他	1,164	1,322
営業外費用合計	11,443	11,337
経常利益	95,957	277,062
特別利益		
固定資産売却益	—	287
特別利益合計	—	287
特別損失		
固定資産除却損	40	1,882
減損損失	—	4,878
リース解約損	—	1,529
特別損失合計	40	8,289
税金等調整前四半期純利益	95,917	269,059
法人税等	42,245	97,382
四半期純利益	53,672	171,677
親会社株主に帰属する四半期純利益	53,672	171,677



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)
四半期純利益	53,672	171,677
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,301	9,327
その他の包括利益合計	3,301	9,327
四半期包括利益	56,973	181,004
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	56,973	181,004

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,375,924	2,527,549	205,419	4,108,893	17,406	4,126,299
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	224,974	224,974	348	225,322
計	1,375,924	2,527,549	430,393	4,333,867	17,754	4,351,622
セグメント利益又は損失 (△)	73,103	101,320	△3,013	171,411	10,385	181,796

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	171,411
「その他」の区分の利益	10,385
セグメント間取引消去	1,864
全社費用(注)	△97,419
四半期連結損益計算書の営業利益	86,241

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	医療機器 販売・保 守事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,405,365	2,663,967	219,736	4,289,069	14,303	4,303,372
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	164,884	164,884	342	165,226
計	1,405,365	2,663,967	384,621	4,453,953	14,645	4,468,599
セグメント利益又は損失 (△)	105,292	257,510	△1,632	361,171	7,320	368,491

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、臨床検査システムのソフトウェア販売及び保守による収入を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	361,171
「その他」の区分の利益	7,320
セグメント間取引消去	2,389
全社費用(注)	△101,499
四半期連結損益計算書の営業利益	269,381

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、応需病院の閉鎖に伴い閉店した土地建物の売却額が確定したことにより、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計額は額は、当第1四半期連結会計期間において4,878千円であります。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。